

「クールジャパン・アカデミアフォーラム」開催要綱

1. 目的

「知的財産推進計画2023」(2023年6月9日 知的財産戦略本部決定)において、クールジャパン戦略を本格稼働・進化させるための手法として、『常に進化するクールジャパン(埋もれた日本の魅力の発掘)』が提言され、その具体的な取組の1つとして、日本の魅力を研究しているアカデミアと連携することが示されている。このような連携を進めることにより、大学間のネットワークを構築し、クールジャパンの「入り口」と「深み」をさらに広げていくことが期待される。

また、クールジャパン戦略を本格稼働・進化させるための手法として、『地方が主役のCJ(その地方にしかない「オンリーワン」の磨き上げ)』や『「人」が主役のCJ(CJの担い手同士のネットワーク構築)』も提言されており、これらの観点からも、アカデミアとの連携を進め、その知見等を活用することが期待される。

以上を踏まえ、クールジャパンの魅力となり得る資源の研究、発信等に取り組むアカデミア関係者によるネットワークを構築し、クールジャパン関係者及び関係省庁・機関等との協働、共創に取り組むとともに、日本の魅力の発掘、磨き上げ、発信の取組等を推進するため、「クールジャパン・アカデミアフォーラム」(以下「本フォーラム」という。)を開催する。

2. 検討・取組事項

- ① アカデミア関係者のクールジャパンに関する取組事例の共有
- ② アカデミア関係者とクールジャパンの関係省庁・機関等との連携
- ③ 日本の魅力の発掘、磨き上げ、発信の方策
- ④ その他クールジャパン戦略の推進に関する事項

3. 構成及び運営

- ① 本フォーラムの構成員は、別紙のとおりとする。
- ② 本フォーラムに、座長及び座長代理を置くことができる。座長及び座長代理は、内閣府知的財産戦略推進事務局(以下「事務局」という。)の指名により定める。
- ③ 座長は、本フォーラムを主宰する。また、座長代理は、座長を補佐し、座長が不在のときは、座長に代わって本フォーラムを主宰する。
- ④ 座長は、必要があると認めるときは、構成員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。
- ⑤ その他本フォーラムの運営に関し必要な事項は座長が定める。

- ⑥ 構成員の任期は、2023年12月20日～2024年3月31日とし、それ以降は、構成員本人又は事務局からの更新拒否の意思表示がない限り、1年間更新されるものとし、その後も同様とする。
- ⑦ 座長及び座長代理が不在のときは、代わって事務局が、その役割を担うこととする。

4. 議事・資料等の扱い

- ① 本フォーラムは、原則として公開とする。ただし、公開することにより、当事者若しくは第三者の権利・利益又は公共の利益を害するおそれがある場合その他構成員が認める場合には、非公開とする。
- ② 本フォーラムにおいて使用した資料については、原則として内閣府のウェブサイトに掲載し、公開する。ただし、資料を公開することにより、当事者若しくは第三者の権利・利益又は公共の利益を害するおそれがある場合その他構成員が認める場合には、非公開とする。

5. その他

本フォーラムの庶務は、関係省庁の協力を得て、事務局が行う。

(別紙)

「クールジャパン・アカデミアフォーラム」 構成員

(敬称略、五十音順)

【構成員】

石田 雅芳 立命館大学食マネジメント学部教授
植田 淳子 和歌山大学食農総合研究学部客員准教授
大江 靖雄 東京農業大学国際食料情報学部アグリビジネス学科教授
海津 ゆりえ 文教大学国際学部国際観光学科教授
北川 啓介 名古屋工業大学工学部社会工学科教授
木村 純子 法政大学経営学部教授
久保田 美穂子 亜細亜大学経営学部ホスピタリティ・マネジメント学科准教授
佐藤 淳 金沢学院大学経済学部経済学科
椿 真智子 東京学芸大学教育学部人文科学講座地理学分野教授
野中 朋美 早稲田大学理工学術院創造理工学部経営システム工学科教授
服部 滋樹 京都芸術大学芸術学部情報デザイン学科教授
山崎 まゆみ 跡見学園女子大学兼任講師

【オブザーバー】

国税庁 課税部 酒税課長
文化庁 文化経済・国際課長
農林水産省 大臣官房 新事業・食品産業部 外食・食文化課長
農林水産省 農村振興局 農村政策部 都市農村交流課長
経済産業省 商務情報政策局 商務・サービスグループ クールジャパン政策課長
観光庁 国際観光部 国際観光課長
環境省 自然環境局 国立公園課長